

駿河湾を探究!

深海魚新聞

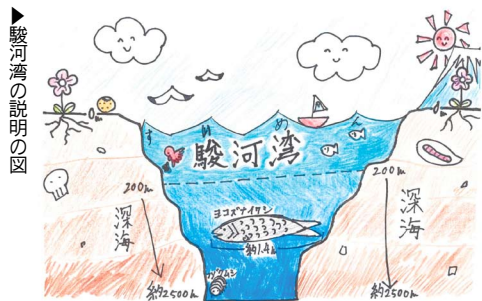


2022年

(令和4年) 9月16日 金曜日

駿河湾の深さはメートル!

日本一深い海「駿河湾」の深さは、それは左の図にあるように、約2500mです。富士山の標高37



駿河湾の説明の図

76mとその深さを足すと、6276mになり、高低差がとても大きくなります。

海の中から熱湯

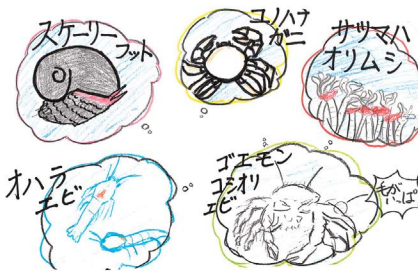
深海にも温泉が湧いている所があり「熱水噴出孔」と呼ばれています。熱水噴出孔からは、地中で温められた100度もの熱水が、勢よく吹き出しています。そして、熱水噴出孔の近くに住む生き物は、白いものが多いです。深海生物の体色は、敵から見つかりにくい赤や黒が多いけど、白く目立っても熱水を嫌がり敵が寄りつかないからという説もあるようです。



駿河湾の熱水噴出孔

熱水噴出孔に住む白い生きものたち

熱水噴出孔の周りには、「サツマハオリムシ」「ユノハナガニ」「スケーリーフォット」「ゴエモンコシオリエビ」「オハラエビ」などの生物がいます。この生物たちも白い色をしているものが多いです。



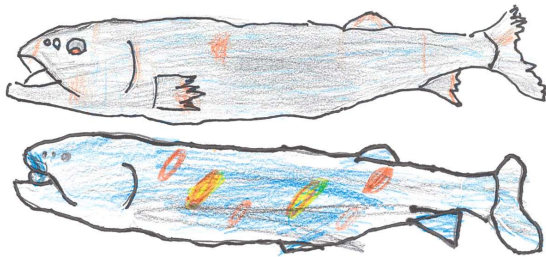
世界で6匹しか見つかっていないヨコヅナイワシが駿河湾に!?

深海って何? 駿河湾を調査!

深海とは何か知っていますか? 深海とは、太陽の光を使って生きる植物性プランクトンが光合成できる限界域で、太陽の光が届かない、水深200mより深い所を表します。駿河湾に水中カメラを落とすところ、200mに着くには5分、2500mに着くには40分かかりました。水深2000m辺りの水温は2℃くらいです。

ヨコヅナイワシとは

世界で6匹しか見つかっていない魚が駿河湾で発見されました。それは、「ヨコヅナイワシ」です。全てメスで、一番大きなものは体長1.4mとイワシ界ではそうとうな大きさ。最近では体長2.5mのヨコヅナイワシが撮影されていて、オスの可能性がでてきます。



ヨコヅナイワシ。体長1.4m、2022年8月10日時点で、世界でまだ6匹しか見つかっていない。脳みその大きさは5cm

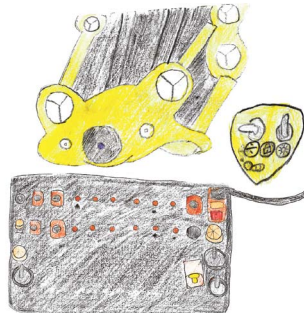
初めての水中ドローン操縦体験!

操縦は難しい!



水中ドローンの操作に挑戦!

水中ドローンは、「人が入れないところに入る」「水中で写真を撮る」「水中で物を運ぶ」ことができます。有線につながっていて、操作には、操縦者と線を調整する2人が必要。カメラを見て操作すると周りが見えなくて、崖などにぶつかりそうになりました。操縦は簡単そうに見えましたが、難しかったです。



水中ドローンとコントローラー

水中ドローンの操縦法がコレだ!

- ◆左スティック(ダイヤル)
 - ・上にとすると浮上
 - ・下にとすると潜水
 - ・左にとすると左回転
 - ・右にとすると右回転
 - ・ダイヤルを内側に回すと下向きに
 - ・ダイヤルを外側に回すと上向きに
- ◆右スティック(ダイヤル)
 - ・上にとすると前進・下にとすると後進
 - ・右にとすると前を向いたまま右に
 - ・左にとすると前を向いたまま左に
 - ・ダイヤルを右側に回すと右にロール
 - ・ダイヤルを左側に回すと左にロール
 - ※困ったときは、ジェスチャーバックボタンで平行に

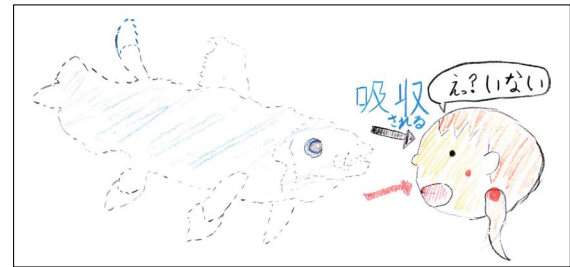
きれいな魚がたくさん見られた

〈PR〉 海と日本プロジェクト <https://uminohi.jp/>

深海魚のひ・み・つを深掘り!

深海魚の色は?

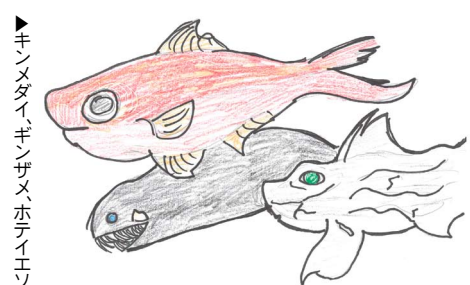
みなさんは、深海魚が赤や黒が多い理由を知っていますか? それは、赤や黒は生きものの目に吸収されやすく(図下)、天敵から見つかりにくい色だからです。深海魚も身を守るために進化をとげているのです。



赤や黒は生きものの目に吸収されやすく、天敵から見つかりにくい

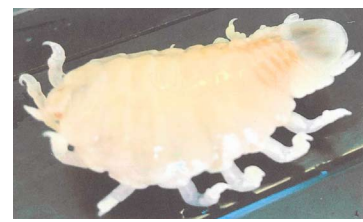
深海の生物たち&ふれあいタイム!

深海魚をさわってみました。深海魚はとも圧がかかっているのかたいと思っていたけれど、思ったよりヌメヌメしていて、フニフニと軟らかかったです。種類は、エビが多くて、小さいサメがかわいかったです。きれいな貝もありました。キラキラしてとてもきれいでした。

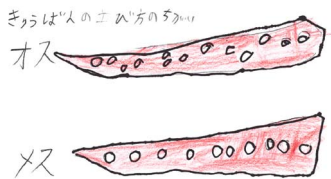


キンメダイ、ギンサメ、ホテイエソ

あって、それを使って泳ぐときにバランスをとって安心して泳げるようになっていきます。



2016年に新種登録された「トリカジカエラモグリ」。住みかは、深海魚トリカジカのえらの中。始めはオスで条件がそろるとメスに変化する

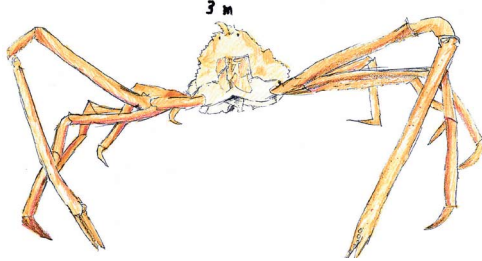


海のアイドル!「メンダコ」。オスとメスで吸盤の並び方が違う。メスは吸盤が一列に並んでいるけど、オスはパラバラ

タカアシガニで魔除けのお面作り

タカアシガニは戸田の宝!

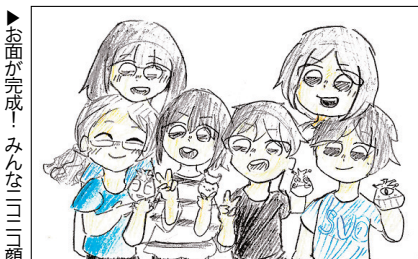
最大で3メートルにもなるタカアシガニ。約30年、何回も脱皮をくり返して大きくなっていきます。



タカアシガニ

個性いろいろお面作りに挑戦

魔除けのお面は、昔からある風習です。昔の人たちは、タカアシガニの甲が人の形をしているから、怖い顔を描いて魔除けや厄除けのお面にして、家の玄関に飾っていたそうです。昔は怖いお面を作っていたけれど、最近はゲームやディスプレイキャラクターなど、いろいろなお面を作る人がいます。絵を描く前に甲にさわったら、色んな所に毛がじゃしゃしゃ、ギザギザして描くのが大変でした。でも、お面作りは楽しくて、みんなの顔はニコニコでした。



お面が完成! みんなニコニコ顔



※記事は、同プロジェクトに参加した子ども達が書いたものを再構成したものです。多少の不体裁や間違いを含めてお楽しみください。